

キャタピラー

適用範囲		モデル名		017 CR	020 CR	020 SR	030 SR	040 SR	
適用号機		K0400001~		K0500001~	K0600001~	K0700001~	K0800001~		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値					
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		2600 ≧ 1300~1400	2400 ≧ 1300~1400	2400 ≧ 1350~1450	2450 ≧ 1100~1200	2450 ≧ 1100~1200	
		ハイアイドルリング ローアイドルリング (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ (°C) (°C)	(70~90) (50±5)	(70~90) (50±5)	(70~90) (50±5)	(70~90) (50±5)	(70~90) (50±5)	
		弁隙間 吸気弁隙間 排気弁隙間 (測定条件)	mm mm	0.15~0.18 0.15~0.18	0.15~0.18 0.15~0.18	0.15~0.18 0.15~0.18	0.18~0.22 0.18~0.22	0.18~0.22 0.18~0.22	
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	MPa kgf/cm ² (°C) (min ⁻¹)	3.5~4.0 36~41 (70~90) (約250)	3.2~3.6 33~37 (70~90) (約250)	2.8~3.2 29~33 (70~90) (約250)	3.2~3.7 33~38 (70~90) (約250)	3.2~3.7 33~38 (70~90) (約250)	
燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa kgf/cm ²	13.7~14.7 140~150	13.7~14.7 140~150	13.7~14.7 140~150	13.7~14.7 140~150	13.7~14.7 140~150		
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 〔測定位置・条件〕	mm	7 98N(10Kg)	7~9 58.8~68.6N (6~7Kg)	7 98N(10Kg)	7 98N(10Kg)	7 98N(10Kg)		
走行性能	最高速度 〔測定方法・条件〕	S	8.0~9.7 〔2速〕 〔図 No. 7〕	7.8~9.5 〔2速〕 〔図 No. 7〕	7.8~9.5 〔2速〕 〔図 No. 7〕	7.1~8.8 〔2速〕 〔図 No. 7〕	7.5~9.1 〔2速〕 〔図 No. 7〕		
走行装置	履帯(クローラベルト)	張り(たわみ量) 〔測定方法・条件 (図面番号表示) L・D寸法〕	mm	10~15 D	10~15 D	10~15 D	10~15 D	10~15 D	
			mm	25~30 D	75~80 D	75~80 D	75~80 D	75~80 D	
		鉄シユール	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕	mm	360 〔図 No. 6〕	360 〔図 No. 6〕	360 〔図 No. 6〕	406.4 〔図 No. 6〕	406.4 〔図 No. 6〕
				N・m kgf・m	—	—	—	—	—

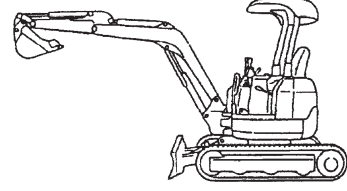
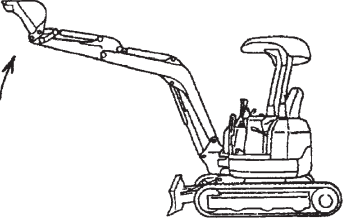
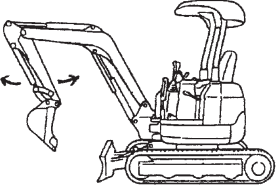
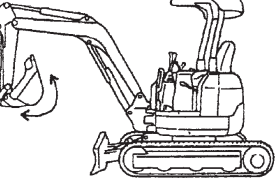
検査基準値								

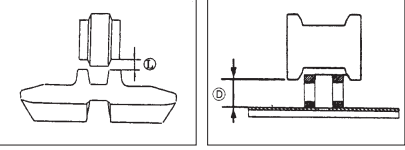
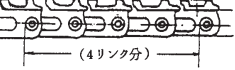
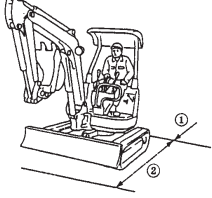
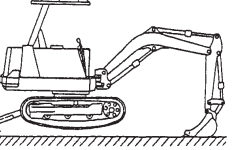
キャタピラー

適用範囲		モデル名		017 CR	020 CR	020 SR	030 SR	040 SR
		適用号機		K0400001~	K0500001~	K0600001~	K0700001~	K0800001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	作業機 自然降下	バケット先端位置	mm	-	-	-	-	-
		(測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	(min) (°C)					
	シリンダー 自然伸縮	ブームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm 負荷kg	25> 72 [図 No. 1]	20≥ 101 [図 No. 1]	20≥ 86 [図 No. 1]	20> 162 [図 No. 1]	20≥ 198 [図 No. 1]
		アームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm 負荷 kg	15> 72 [図 No. 1]	11≥ 101 [図 No. 1]	11≥ 86 [図 No. 1]	11> 162 [図 No. 1]	11≥ 198 [図 No. 1]
バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)		mm 負荷 kg	10> 72 [図 No. 1]	10≥ 101 [図 No. 1]	10≥ 86 [図 No. 1]	10> 162 [図 No. 1]	10≥ 198 [図 No. 1]	
ブレードシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) (作動油温)		mm (°C)	25≥ 50±5	20≥ 50±5	20≥ 50±5	20≥ 50±5	20≥ 50±5	
置	作業機速度	ブーム上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	2.1±0.3 [図 No. 2]	2.9±0.3 [図 No. 2]	3.5±0.3 [図 No. 2]	3.3±0.3 [図 No. 2]	3.8±0.3 [図 No. 2]
		アームシリンダー伸ばし	S	3.3±0.3	2.8±0.3	2.3±0.3	3.9±0.3	4.0±0.3
		縮め	S	2.2±0.3	2.7±0.3	2.4±0.3	2.5±0.3	2.6±0.3
		作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
		バケットシリンダー伸ばし	S	2.7±0.3	3.2±0.3	2.5±0.3	2.6±0.3	2.6±0.3
		縮め	S	1.8±0.3	2.1±0.3	1.8±0.3	1.6±0.3	1.6±0.3
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (P1/P2)	MPa	21.6	21.6	20.6	24.5	24.5
		性能測定条件	kgf/cm ² 油温/ Eng	220 50±5°C/ フル回転	220 50±5°C/ フル回転	210 50±5°C/ フル回転	250 50±5°C/ フル回転	250 50±5°C/ フル回転
動力 伝達 装置	旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	アウトレーシング取付け ボルトの締付けトルク	N・m	103~117	103~117	103~117	260~304	260~304
		kgf・m	10.5~12	10.5~12.0	10.5~12.0	26.5~31.0	26.5~31.0	
	旋回減速機 取付けボルト の締付け	インナーレーシング取付け ボルトの締付けトルク	N・m	103~117	103~117	103~117	260~304	260~304
		kgf・m	10.5~12	10.5~12	10.5~12.0	26.5~31.0	26.5~31.0	
旋回減速機 取付けボルト の締付け	油圧モーター取付けボルトの締付けトルク	N・m	123.6~147.1	103~117	103~117	167~196	167~196	
	kgf・m	12.6~15.0	10.5~12.0	10.5~12.0	17~20	17~20		
旋回減速機 取付けボルト の締付け	旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N・m	-	-	-	-	-	
	kgf・m	-	-	-	-	-		

検査基準値								

キャタピラー

<p>シリンダの自然降下量 〔測定要領〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水平な場所に機械を置く。バケット山積負荷とする。 2. アームシリンダを一杯縮め、バケットシリンダを一杯伸ばす。 3. バケットの底面地上高さを、1m程度の位置にする。 4. ブーム、アーム、バケットのシリンダロッドに印をつける。 5. 10分間後の降下量を、スケールで測定する。 油温：50±5℃ 	 <p style="text-align: center;">図 No. 1</p>
<p>ブームシリンダ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アームシリンダ、バケットシリンダを最縮小。 2. エンジンを最高回転にする。 3. 接地→シリンダエンド間の所要時間を測定する。 注、クッション作動時間は含まない。 	 <p style="text-align: center;">No. 2</p>
<p>アームシリンダ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ブーム、アームを図の状態にする。 2. エンジンを最高回転にする。 3. アームシリンダのフルストロークの所要時間を測定する。 	 <p style="text-align: center;">図 No. 3</p>
<p>バケットシリンダ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ブーム、アームを図の状態にする。 2. エンジンを最高回転にする。 3. バケットシリンダのフルストロークの所要時間を測定する。 	 <p style="text-align: center;">図 No. 4</p>

<p>クローラの張り 注) ゴムクローラの場合は継目マーク(∞)を上部中央にくるようにして調整する。 調整後 1~2 回クローラを回して張代を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● クローラ部を浮かす  <ul style="list-style-type: none"> ● トラックローラの踏面と、リンク踏面とのすき間 L 又 D を測定する。 <p style="text-align: center;">図 No. 5</p>
<p>鉄シューリンクピッチの伸び 測定方法</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ● マスタピンから 1~2 リンク離れた 4 リンク分を測定する。 ● シューリンクを張った状態で測定すること。 <p style="text-align: center;">図 No. 6</p>
<p>走行性能 最高速度測定方法 条件 作動油温度：50±5℃</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ● 走行姿勢にし、各速度の最高速度が得られるまで助走する。 ● 10m間の所要時間を測定する。 <p>①助走 ②測定区間(10m)</p> <p style="text-align: center;">図 No. 7</p>
<p>ブレードシリンダ自然伸縮 測定方法 条件 作動油温度：50±5℃</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ● フロントとブレードを使用し上図のように車体を持ち上げる。 ● ブレードのシリンダロッドに印をつける。 ● 10分後の降下量をスケールで測定する。 <p style="text-align: center;">図 No. 8</p>

キャタピラー

クレーン時の旋回速度測定

適用範囲		モデル名		020SR	030SR	040SR	050SR	
適用範囲		適用号機		K0600001～	K0700001～	K0800001～	K0900001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	2回転の所要時間	秒	14.8～22.6	15.2～22.6	15.2～22.6	14.0～20.7	
		(条件) エンジン回転数	rpm	1725～1875	1725～1875	1725～1875	1575～1725	
検査条件	検査条件							

適用範囲		モデル名		307D	308DCR	308DSR		
適用範囲		適用号機		ECT00001～	HSA00001～	JPS00001～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	22.5～26.0	22.5～26.0	22.5～26.0		
検査条件	フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。							

適用範囲		モデル名		303.5ECR	304ECR	305ECR	305.5ECR	
適用範囲		適用号機		RSE00001～	TSR00001～	XSC00001～	FSC00001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	25.7-36	25.7-36	25.7-36	25.7-36	
検査条件	クレーンモードに入った状態で、エンジン回転数が自動制御されるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。							

適用範囲		モデル名		311DRR	312D	313DCR	313DSR	314DCR
適用範囲		適用号機		AKW00001～	FBJ00001～	LCE00001～	LBR00001～	MFK00001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	45±3	45±3	32.7±3	32.7±3	32.7±3
検査条件	フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。							

キャタピラー

適用範囲		モデル名		315DL	320D-2	320DL-2	320DRR-2	320DLRR-2
		適用号機		BYK00001~	BWZ00001~	DFB00001~	RBL00001~	SCW00001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	45±3	35.3±3	35.3±3	36±3	36±3
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						

適用範囲		モデル名		320DLN	321DCR	321DLCR	312E	314ECR
		適用号機		KAF00001~	JCX00001~	KBH00001~	GAC00001~	ECN00001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	45±3	45±3	45±3	35.3±3	35.3±3
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						

適用範囲		モデル名		314ESR	314ELCR	316EL	320E	320EL
		適用号機		ECN00001~	YCW00001~	WZY00001~	SXE00001~	LAK00001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	35.3±3	35.3±3	35.3±3	35.3±3	35.3±3
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						

適用範囲		モデル名		320ERR	320ELRR			
		適用号機		LHN00001~	MEW00001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	35.3±3	35.3±3			
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						